

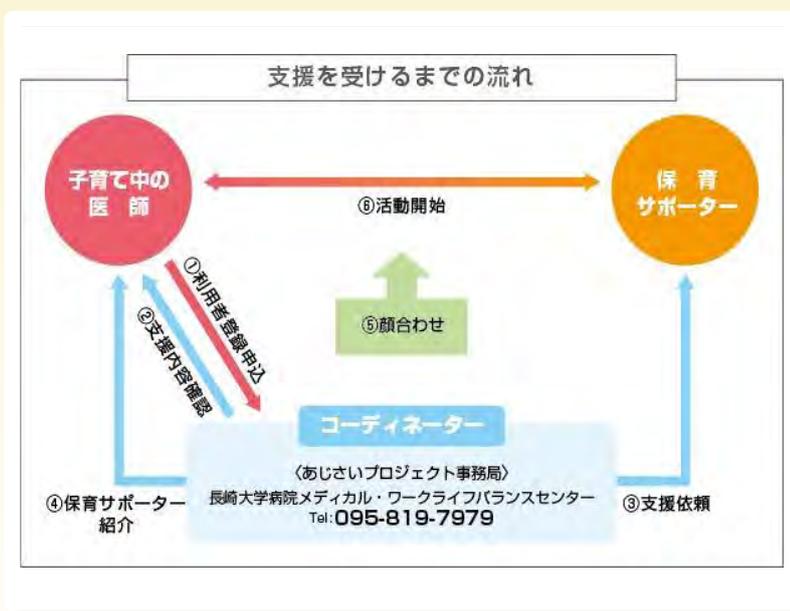


医師の仕事と子育ての両立を応援します!

長崎医師保育サポートシステムは、長崎県内の子育て中の医師の「仕事と育児の両立」を図るために、医師のニーズに応じて、保育サポーターの情報提供・紹介を行い、マッチングをコーディネートするシステムです。長崎大学病院メディカル・ワークライフバランスセンターと長崎県医師会が協働で運営しています。

システム利用可能な地域は長崎、県央、佐世保・県北、県南、上五島、壱岐医療圏ですが、保育サポーターの登録数が少ない地域もございますので、利用希望の際は、まずはセンターへご相談ください。保育サポーターも随時募集しています。

おかげさまで、システム利用数は年々増加しており、これからも医師が子育てをしながらも目標や夢に向かって活躍できるよう、その一助になれば幸いです。



保育サポーター活動報告書について

活動報告書は**毎月7日までに**長崎大学病院メディカル・ワークライフバランスセンターへ提出をお願いします。**提出が遅れそうな場合は必ずセンターへご連絡ください。**活動実績は関連機関へ報告が必要ですので、短時間でも活動された場合は必ず提出いただきますようよろしくお願いいたします。



※未提出の場合、保育サポートシステムの活動外とみなされ、サポート中の事故などの際にサポーターの皆様が加入されている『賠償責任保険』が適用できませんのでご注意ください!

保育サポーター スキルアップ研修会 2022.9.5



● 「乳幼児の一次救命」を学ぶ

感染症拡大防止の観点から中止していたスキルアップ研修会を3年ぶりに開催しました！日本赤十字社長崎県支部より講師をお迎えし、

「乳幼児の一次救命」について実践を交えて教えていただきました。誤飲・誤嚥の事故や乳幼児の異変のサインについて解説いただき、気道異物除去法と一次救命処置の胸骨圧迫を参加者全員が人形で実践しました。実際にAEDを使用し救命現場さながらの雰囲気でした。

DVD視聴による保育サポーター 説明&研修(個別対応)

● 説明・研修用DVDの貸出を行っています！

保育サポーターの登録を検討されている方は、センターまたは自宅で、説明・研修用DVDを視聴し、受講参加としました。

◆システムの概要説明

◆研修①「子どもの心理的サポート」

吉田 ゆり先生 長崎大学ダイバーシティ推進センター センター長
長崎大学教育学部 教授

◆研修②「こどもの応急処置～病院へ連れていく前に～」

長谷 敦子先生 長崎大学病院医療教育開発センター
長崎外来医療教育室 室長・教授

皆さまの声

2022年度に保育サポートシステムと関わりのあった皆さまから、メッセージをお寄せいただきました。貴重なご意見は、今後の運営に反映してまいります。ありがとうございました。

利用者（医師）の声

●医師の夫と双子を含む3児と私の5人家族で、双子出産後から長崎医師保育サポートシステムを利用しています。事前に民間や自治体のサポート情報も収集し検討しましたが、業務内容が1番フレキシブルで安心感もあり、長崎医師保育サポートシステムを利用しようと思いました。現在は二人の保育サポーターさんが週1回ずつ来てくださり、荒れた家が家事支援で定期的のリセットされるので心身共にストレスが激減しています。今後も、子どもの成長や自身の復帰状況に合わせて時間帯や支援内容を相談しながら長く利用させていただければと思っています。

●クリニックを開業しており、生後5週目から診療中の保育を依頼しました。4人の保育サポーターさんにシフトを組んでいただき、1人あたり週に半日のサポートを2、3回担当していただいています。声掛けやお歌、赤ちゃん体操含めた遊びなども豊富で、親子2人で過ごすよりも良い刺激が多いと感じています。サポート中の様子も細かく教えていただき、たいへんありがたいです。

●第3子出産前から2番目の子どもの保育園へのお迎えをお願いしました。出産後も、新生児期は毎日お願いしました。30分程度の依頼なので勿体ないかなと思ったのですが、やってみると本当に楽で、決まった保育サポーターの方をお願いできるので、子どももすぐに慣れ、安心して利用できました。新生児を連れての病院受診でもサポートをお願いしましたし、自宅に来てもらった時もずっと赤ちゃんを抱っこしていただいたおかげで家事も進み、とても助かりました。これからも利用させていただきたいと思っています。

●第1子出産後より不定期で利用していましたが、今年第4子を妊娠、主人が単身赴任となったため1人で家事育児をしなければいけません。切迫早産のリスクがありましたが、週末には上3人のお世話をお願いし、休むことができたおかげで無事に出産することができました。産前はファミリー・サポート・センターながさきも利用していましたが、産後は家事支援もお願いしたかったため、長崎医師保育サポートシステムへ変更したことで、赤ちゃんや子ども達のお世話に集中することができ、とても助かっています。また子育ての悩みなども相談でき、精神的にも支えてもらっています。来年度もワンオペ育児は続くので、引き続き利用したいと思っています。

保育サポーターの声

●お子さん2人を学童と幼稚園にお迎えに行き、医師宅でご帰宅までの保育を行っています。先生がお休みの日以外は、ほぼ毎日サポートしていますので、お子さん達とはすっかり馴染み可愛いです。お子さん達からは、お仕事を頑張っているパパとママが大好きである様子がひしひしと伝わってきます。

●週1回、医師宅で1歳2か月の双子ちゃんのお世話と家事支援をしています。まず、お掃除を済ませ、その後先生が買い物の間、双子ちゃんの見守りをしています。生後2か月の頃からサポートしていますが、最近はとても活発に動くようになり、上のお子さんと一緒に仲良く遊んだり出来るようになった姿を見てみると、とても微笑ましい気持ちになります。大切なお子さん達をお預かりするという緊張感は常にありますが、可愛いお子さん達との楽しい時間を大事にし、日々成長していく姿を見守りながらサポートできることに感謝しています。

●今年の春からサポートを担当しています。5歳のお子さんの幼稚園のお迎え、習い事の付添い、家では夕食を作りやお掃除などもお手伝いしています。明るくキュートで人懐っこいお子さんと、かわいいワンちゃん達、温かなまなざしで接して下さる先生方に救われこの貴重な時間を過ごさせてもらっていることに感謝しています。

いざという時に
頼れて安心！

いつも楽しくサポート
しています！

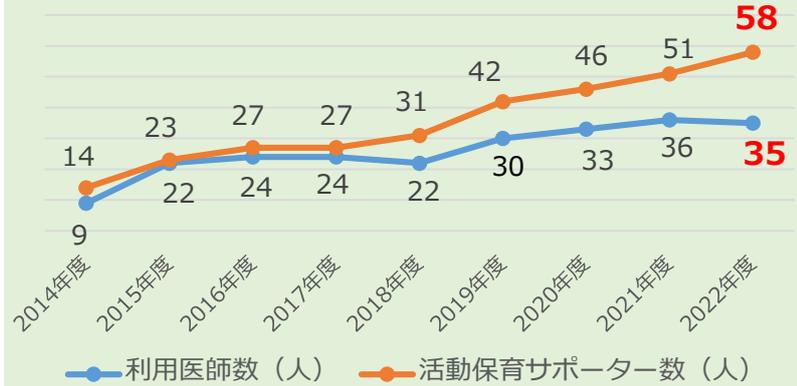


2022 年度

活動状況

2022/4/1～2023/2/3現在

利用医師・活動サポーター推移



2022年度

利用者
(医師)

保育
サポーター

新規登録数	14名	27名
システム登録総数 うち利用・活動実数	63名 35名	244名 58名
資料請求数	15件	44件

● 主な活動内容

活動回数の月平均は202回で、毎年増加しています。
習い事の送迎など、定期での利用も増えています。

- ・ 医師宅やサポーター宅での保育
- ・ 保護者在宅中の乳児見守りや保育、沐浴の補助
- ・ 送迎のみ（保育園・幼稚園・習い事・学童等）
- ・ 保育園、幼稚園、学童へのお迎え＋その後の保育
- ・ 病児保育（医師宅での病児保育等）
- ・ その他（外遊び、外出先や行政施設での保育等）など



＋保育と併せて家事支援（掃除、洗濯、食事作り等）を行う場合もあります。

利用中の医師と活動中の保育サポーターの皆さまへ

2023年3月活動分までの「活動報告書」は、**4月4日（火）までに必ずご提出ください。**

（難しい場合は、一旦期日までに電話かメールでご報告ください。）

※各機関へ詳細な実績報告が必要なため、ご協力をお願いします。

医師の皆さまへ

◆登録内容（住所、勤務先、支援を受ける子どもの人数など）に変更がある場合はセンターまでご連絡ください。

◆同封の「登録確認書」は**3月3日（金）までにセンターへご提出ください。**

保育サポーターの皆さまへ

◆登録内容（住所、活動可能な時間帯、活動内容）に変更がある場合や、登録抹消をご希望の場合はセンターまでご連絡ください。

◆円滑な相互連絡のため、**メールアドレスの登録にご協力をお願いします。**ご利用の携帯電話やパソコンのメールソフトから、下記へメールを送信ください。

宛先：info01@nagasaki-ajisai.jp

※本文にはお名前を入力ください。



問い合わせ先

【長崎医師保育サポートシステム】

長崎大学病院メディカル・ワークライフバランスセンター

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7-1 TEL&FAX 095-819-7979

メール info01@nagasaki-ajisai.jp

あじさいプロジェクト

で検索

<Webサイト>

